

平成27年2月17日

浜田市議会議長 原 田 義 則 様

議員名 芦 谷 英 夫



## 調 査 研 究 活 動 報 告 書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

### 記

- 1、期 間 平成27年2月14日(土)
- 2、研修内容 邑南町の人口定住に向けた各種施策について視察
- 3、研 修 先 邑南町役場
- 4、調査経費 浜田駅⇒瑞穂インター(邑南町役場)⇒浜田駅  
(高速バス、町営バス利用)  
バス代 2,720円

### 5、調査研究活動の概要

別紙のとおり



## 「邑南町の人口定住に向けた各種施策について行政視察」

平成27年2月17日

- 1 日 時 平成27年2月14日（土）10時30分～12時  
2 場 所 邑南町役場  
3 内 容

- ① 邑南町は「“攻め”のA級グルメ構想、“守り”の日本一の子育て村、徹底した移住者ケア」の3つの柱でまちづくりを進めている。A級グルメ構想は、耕すシェフなどにより無機無農薬食材の生産、加工、販売、素材工房“味蔵”での調理などを行っており、この味蔵は多くの来客を迎えている。
- ② 日本一の子育て村では、中学生までの医療費無料化、保育料の無料化、公立邑南病院では産婦人科・小児科機能の充実として専門医が常駐し、常勤医師10名の体制。米飯など保育所の完全給食、奨学金制度、学習支援員11名配置、矢上高校通学バス助成、住宅や空き家の改修補助事業、UIターン者専用住宅の建設などを進めている。
- ③ 日本創生会議の予測では、総人口2010年11,959人⇒2040年6,781人、20歳～39歳女性人口2010年801人⇒2040年334人とされていた。ところが2010年の総人口は11,560人で減少が鈍化し、20歳～39歳女性人口は814人で、2010年に比べ13人増え、合計特殊出生率は邑南町2・65、島根県1・68、全国1・41となるなど出生数の増加、人口維持につながっている。
- ④ 徹底した移住者ケアは、自身もIターンの定住支援コーディネーターの横洲さんが定住促進支援員との協働で、空き家の利活用、地元の人々の好意、周囲の人々の支えなどを進め、お節介を焼く文化や土壌などが功を奏し、26年度は社会増5人となっている。
- ⑤ 24年度から地域おこし協力隊21人を受け入れ、耕すシェフ、アグリ女子隊、耕すあきんど、などとして18人が定住しており、町では地域おこし協力隊を積極的に活用するなど、人口定住施策を進めている。

### 4 所 感

- ① 浜田市は邑南町と食を通じた観光文化交流協定を締結しており、食、観光、人材育成などで交流を図り、日本海と里山の良さを生かし、市町間の相互メリットを引き出し入込客の増加を図る取り組みが必要である。
- ② 食によるA級グルメ構想、日本一の子育て村、徹底した移住者ケアなどは浜田市にとっても同様の課題をかかえており、職員の研修や両市町の協働事業などによって、人口定住に向けた浜田市の底上げが必要である。
- ③ 邑南町では、27年度に企業支援センターを開設する計画で、地域活性化のカギを握るのは生産から加工販売まで行う6次産業化の推進とし、企業支援センターはその担い手を育てることを目的としており、参考となる取り組みである。
- ④ 邑南町として「浜田市の魚、邑南町の農産物とのコラボにより、横断自動車道沿線の北広島町との連携により広島市など山陽地方の市場を開拓したい」としており、浜田市としても能動的に取り組む必要がある。

—以上—